

9. 消費者へのアドバイス

(1) 乗車前に前車輪の固定確認などの点検を必ず行いましょう

クイックリリースハブを使用している自転車では、正しく固定しないで走行した場合、走行中に車輪が脱落し重篤な事故に発展するおそれがありますので、必ず走行前に正しく固定されていることを確認してください。前車輪を持ち上げてタイヤをたたいたり、前ブレーキをかけて車体を前後に揺すったときにガタつきを感じるようでしたら、前車輪が正しく固定できていない可能性があります。正しい固定方法は取扱説明書及び表1を参照してください。

また、万一の転倒などに備え、乗車する際にはヘルメットやグローブなどの安全装備を着用しましょう。

これは自転車全般に言えることですが、自転車を安全で適正に利用するためには、各部が正常に動作したり必要な性能を満たすように整備する必要があります。こうした部品の中には利用に伴って徐々に緩みを生じるものもあるため、定期的な点検整備が不可欠です。自転車を利用するごとに行う日常的な点検整備のほかに、少なくとも1年に一度を目安に販売店などで定期的な点検整備を行いましょう。

なお、一般社団法人自転車協会では自転車の安全点検方法について、ウェブサイトで紹介しています^(注7)。また、公益財団法人日本交通管理技術協会ではTSマーク制度^(注8)があり、自転車安全整備店で点検・整備(有料)を受けると貼付してもらうことができます。このマークは点検整備の日から1年間有効で、傷害保険と賠償責任保険が付いています。

(注7) 一般社団法人自転車協会 自転車安全チェック (www.bicycle-select.jp/safety/)

(注8) TSマークには、青色マーク(第一種)と赤色マーク(第二種)があり、賠償内容が異なります。

(2) 初めてクイックリリースハブを使用している自転車を購入する場合は、必要性を十分に検討し、的確なアドバイス及びサービスが提供できる販売店などから購入しましょう

クイックリリースハブは主にスポーツ車に使用されており、正しい使い方を理解する必要があります。消費者へのアンケート調査の結果、3割の消費者は、これまで前車輪を外したことはないと回答し、半数の消費者はレバー操作で簡単に外れる機構は必要ない、あるいはどちらでもよいと回答しました。また、2割の消費者は前車輪が外れてけがをしたあるいは危険な思いをしたことがあると回答しました。クイックリリースハブを正しく固定しないで使用した場合、走行中に車輪が脱落し、重篤な事故に発展するおそれがあります。購入する際には、一般的な自転車の車輪の固定方法との違いを理解し、慎重に選択してください。

また、調整やメンテナンスにはより専門的な知識を必要とします。初めてクイックリリースハブを使用している自転車を購入する場合は、的確なアドバイス及びサービスが提供できる販売店などから購入しましょう。

なお、一般社団法人自転車協会ではスポーツBAAマーク制度^(注9)があり、SBAA PLUS認定者がいる店舗では、上記内容に関するアドバイスなどを提供しています。

(注9) 安全基準に適合したスポーツ用自転車に付けられる「SBAAマーク」と、一定の実務経験、技量、知識を有すると認められたショップだけがスポーツ用自転車に貼付できる「SBAA PLUSマーク」の二つから成り立っています。